

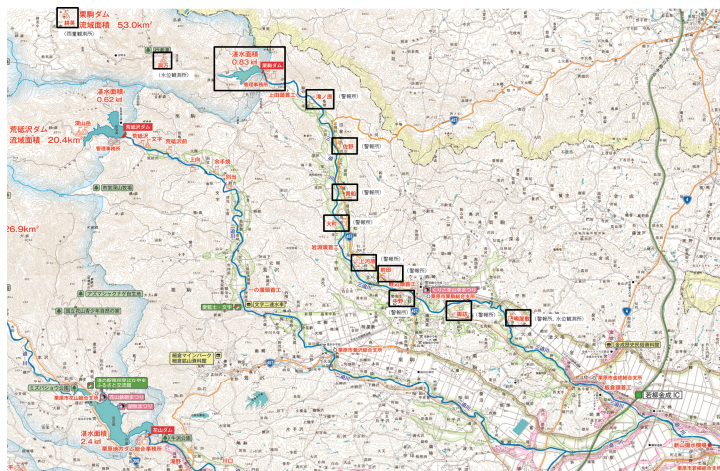
一級河川北上川水系 三迫川 栗駒ダムの効果(令和8年6月21日)

宮城県

○栗駒ダムでは、令和8年6月21日低気圧の影響により、**流域平均の累計雨量が188mm、最大時間雨量では13mm**を記録しました。これによるダムへの最大流入量は、計画1113.0m³/sに対し、**68.96m³/s**を記録しました。

○今回の洪水調節により**最大流入時の76.2%(52.55m³/s)**を貯留し、下流河川の水位上昇を軽減しております。

ダムの位置図



ダムの状況写真



貯水池 ダム堤体上流
(撮影:6月21日7時30分)



放流設備 ダム堤体下流
(撮影:6月21日7時30分)

栗駒ダムの洪水調節実績

・洪水調節	開始	21日 11時 10分	終了	21日 12時 50分
	開始	21日 16時 50分	終了	21日 17時 50分
・ダム流域累計雨量	188 mm	(21日 16時 ~ 21日 17時)		
・最大時間雨量	13 mm	(14日 8時 ~ 14日 9時)		
・ダムへの最大流入量	68.96 m ³ /s	(21日 12時 0分)		
・最大流入時の放流量	16.68 m ³ /s			
・ダムによる最大調節量	52.55 m ³ /s	(約 76.2 %)		

栗駒ダムによる調節量

最大流入時に、流入量の 76.2% をダムに貯留しました。

最大流入時の放流量
16.68 m³/s

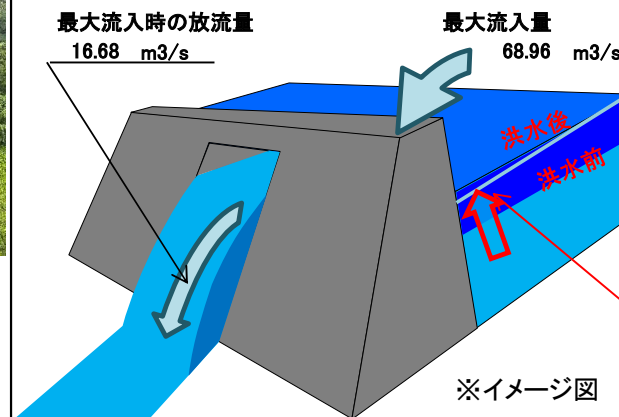
最大流入量
68.96 m³/s

洪水調節開始時の貯水位
1回目 192.18 m
2回目 194.08 m

洪水調節時の最高貯水位
1回目 192.75 m
2回目 194.32 m

最大貯留量
437 千m³

2.14 m上昇



※イメージ図

一級河川北上川水系 三迫川 栗駒ダムの効果(令和8年6月21日)

宮城県

○栗駒ダムの洪水調節等により、この鳴屋敷地点で、**水位を約0.16m低減させる効果**があったものと推測され、河川がはん濫する危険を軽減し、三迫川沿岸市街地の洪水被害の防止に努めました。

下流河川の状況写真



(上流を望む)

6/22 10:20 水位 1.50m



(下流を望む)

【洪水後】栗駒ダム下流 岩ヶ崎地点



(上流を望む)

6/22 10:40 水位 2.87m



(下流を望む)

【洪水後】栗駒ダム下流 鳴屋敷地点

三迫川(鳴屋敷地点)の水位低減効果

